

受け継がれる

天下の奇祭

万燈祭

万燈祭とは

銀座にある秋葉社の祭礼で、火難防除と町内安全を祈願する祭りです。県の無形民俗文化財に指定され、氏子7町に加え、地区と企業が参加し、今年は3年ぶりの開催となります。開催1日目を新楽、2日目を本楽と呼び、新楽は万燈と子ども万燈が市内を練り歩きます。本楽では、氏子7町の万燈が秋葉社の境内で舞を奉納します。

歴史ある祭り

宝暦6年（1756年）に秋葉堂（現秋葉社）が建立され、火伏せの神を祭り、祭礼が行われていました。安永7年（1778年）の祭礼に、笛や太鼓に合わせて万燈が登場し、昭和の初期ごろから万燈祭と称され、今日まで伝統が受け継がれています。

迫力と緻密さを感じる万燈

万燈は、竹と和紙で作られた張子人形を色鮮やかに彩色したもので、多くは歌舞伎絵や武者をかたどっています。大きなものでは高さ約5メートル、重さ約60キロにもなります。各町の万燈は、毎年、数カ月をかけて新作が製作されます。若衆が万燈を1人で担ぎ、勇壮に舞う様子は圧巻です。また、万燈は日が沈むにつれ、色鮮やかに光を放ち、見る者を魅了します。

問 市観光協会（☎23・4100）

平成30年 第22回ふるさとイベント大賞
内閣総理大臣賞

天皇陛下御即位二十年を
お祝いする国民祭典
（皇居前にて）

平成
21年

昭和
57年

昭和
39年

大正
8年
ころ

平成
8年

（細川朗氏提供）

次のページで今年の万燈を紹介！